

All for oneなDNS運用を目指して

～社内横連携をはじめた話～

ヤフー株式会社 針山 拓海



自己紹介

- 針山 拓海(はりやま たくみ)
- Yahoo! JAPANに新卒入社、現在6年目
- プロダクションネットワークの運用・構築に従事
- 現在DNSサーバの運用・管理の主担当

いきなりですが皆様にお伺いします

皆様はお仕事でDNSに「どんな立場で」
関わっていらっしゃいますか？

DNSに関わると言っても色々な立場がある

- DNSサーバの運用
 - 権威DNSサーバ? それともキャッシュDNSサーバ?
 - BtoB? BtoC? 社内向け? 社外公開?
 - ドメインの運用
 - 自社ドメイン? 他社向けサービス? リセラーやレジストリ/レジストラ?
 - DNSソフトウェア・アプライアンスの開発や研究職など
- 主に所属先やその業種による立場の違い

同じ社内でも部署によってDNS/ドメインとの関わり方は違う

- 技術部門/サービス運用部門/営業部門/法務部門/セキュリティ部門など
- 所謂「縦割り」の弊害が起きてしまう懸念がある
 - 自分の領域外のどこを誰が管理しているかわからない
 - 何かあったときにどこに相談すればいいかわからない

今日お話すること

**DNSの運用を円滑化するために、
部署間連携をはじめたお話**

Internet Week2020のセッションを聞いて横連携の必要性を認識

- セッション「ドメインハイジャック時のインシデント対応と外部機関との連携の重要性について」
 - 2020年6月に発生したcoincheck.comドメインハイジャックについて経緯や対応の共有
 - 社内部署・社外問わず緊密な連携が重要
 - 「自社で同様のことが起きたとき、うまく対応できるだろうか」と内省する機会となった

社内横連携を行いたい、でも…

- 横連携の必要性はわかったが、どの部署とどう連携すればいいか、どう進めればよいか判らなかつた
- まずは自分の所属する部門(インフラ技術系)の中で取り組みの重要性をアピールしたい
 - 部門のLT会で発表
 - →同様の課題感を抱いている人から横連携活動のお誘いを頂く
 - CISOや証明書運用チームなども巻き込んだグループを始動

DNSやドメインに関わる部署との連携を開始

- 有事連絡フローの構築
 - 弊社で持っているドメインの利用状況の棚卸し、不要ドメインの放棄
 - 社内のドメイン利用細則の整備着手
- など

横連携が強くなることでどう嬉しいか

- 今までよりスムーズな運用が見込める
 - 担当部署を求めて東奔西走することが減る
- 有事の際の初動を早くできるようになる
 - 一度上に上げてからだと時間がかかる
- 弊社バリューの1つである“All Yahoo! JAPAN”につながる
 - 特にエンジニアは「技術で解決しよう」としがち
 - 時と場合によっては人同士で助け合う必要がある

今後、更に横連携を深めてインシデント対策を強めるには

- 今後取り組んでいきたいこと
 - 有事訓練を行う予定
 - 社内だけでなく社外との連携も強めていきたい
 - DNSOPSの皆様との情報共有など
 - 他にももっとやれることはありそう

**皆様の所属先ではどのようにDNS/ドメイン運用・インシデント対応の
連携を行っているか是非ご教示ください！**

まとめ

- DNSの運用と言っても所属先や部署によってやることは異なる
- 縦割りだと有事の際に初動が遅くなる懸念がある
- 社内横連携をはじめました
 - どう進めればよいか分からないときはその旨を素直に相談するのが良い
- 是非皆さんの知見をお借りしたいです